



2012～2013年度 国際ロータリーテーマ  
Peace through Service  
「奉仕を通じて平和を」



## HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 小飯塚立雄 ●副会長 鳥海衡一 ●幹事 清水雅広 ●会報委員長 関口幸恵 (2012～2013年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

号外 2013年6月21日～25日 ロータリー国際大会 リスボン

### ロータリー国際大会リスボン参加報告

参加者代表 清水 孝一



本年6月21日から25日の間、原田伊三郎氏、鳥山優子さん、私の三人で国際大会に参加致しました。会場は、リスボン市内のアトランティコ・パビリオンです。

ポルトガルは、面積が日本の四分の一、人口で日本の十分の一という小国ですが、一般に知られる範囲では、大航海時代の16世紀から交流があり、同国から移入された日本語も天ぷら、カステラ等いくつかあります。

大会開催地であるリスボン市は、丘が多く起伏に富んでおり、若干土地勘を掴みにくいところですが、市の人口約60万人と言われ落ち着いた佇まいです。この街に164カ国から23千人のロータリアンが集まりました。この内日本人は10%にあたる2千3百人が集いました。因みに2780地区からは105名とのこと。駐ポルトガル大使によりますと年間約6万人の日本人が当地を訪問するそうで、今回の日本ロータリアンの訪問人数は一週間で通常とすれば通常の2倍の日本人が訪れたこととなります。

本会議は、昨年同様二回開催されましたが、何といても印象に残ったのは田中作治 RI 会長(当時)のスピーチです。原稿を一切読まず、約20分間英語でスピーチされました。

ご自身の生い立ち、第二次大戦の廃墟からご自身のご家族も含め日本人がどう立ち直り、今日の繁栄を築いたか、そしてロータリーとの出会いと感謝。最後に日本から来られた田中ファミリー全員(小さなお子様含む)15名が壇上に立たれ、会場全体がスタンディングオベーションで拍手鳴りやまず、田中氏への敬意と感謝を表しました。同じ日本人として大変誇りを感じた次第です。

ハイライトである国旗入場式では、国名のアルファベット順で入場するのですが、日本の入場が無いのでアレ?と思っていたら最後に登場しました。RI会長の出身国は最後の「とり」のようです。我々日本人のみでなく、会場全体に大きな拍手が沸き起こったことに感動しました。

本会議の最後にサプライズでしたが、「イル・ディーヴォ」が「リスボン・メトロポリタン・オーケストラ」をバックに熱唱し、特に女性陣が大喜びでした。確かに「イケメン」揃いで美声を聞かせてくれました。

「友愛の家」ブースでは各出展者との会話を愉しみました。ロータリーグッズの買い物も毎回楽しみの一つです。

「日本人親善朝食会」がシェラトンホテルで開催され、田中会長や四宮信隆・駐ポルトガル日本大使、RI委員の方々も参加され、大盛況でした。

更に「2780地区夕食会」がチボリホテルで開催され、森 洋・前ガバナーの進行の基、菅原ガバナー(当時)含む各グループ役員の出席を得、美味しい料理を頂きながら和やかなひとときを過ごすことが出来ました。海外で地区

懇親会というのも良いものです。

大会事務局が主催した“Unforgettable Fado Night”を“Campo Pequeno”（闘牛場）で聴きました。Fadoは、当地で古くから庶民に歌われて来ている歌謡で、「ソウルと人生」がテーマだそうです。哀愁に満ちた、我々日本人の琴線に触れる歌です。ポルトガル語なので意味は取れませんでした。何とも言えない情緒を感じるリズムと歌でした。

以上、雑駁ではありますが、報告と致します。尚、昨年のバンコク大会でも感じたことですが、ロータリーは「参加すること」が第一と思います。参加しなくては分かりません。参加していけば必ず自分の居場所が出来ます。勿論会員との交流が深まり、必ず“WIN-WIN”の関係が出来ます。ということで特に新入会員の方々にお勧めしたいのですが、例会や行事に積極的に参加しましょう！来年の国際大会はシドニーです。皆様、ご一緒しましょう！

Obrigado Lisbon and Rotarians from all over the world !!



リスボンの中心であるボンバル侯爵広場で。右奥にジャカランダが咲いています。



会場の外観



愈々国際大会入場です。鳥山さんの左隣の女性は平塚湘南RCの関口様です。



友愛の家にて。ポルトガルは世界一のコルク生産・輸出国だそうです。指さしているバッグもコルク製です。



田中作治ファミリーの勢揃いです。会場がほのぼのしました。一番嬉しかったのは田中氏でしょう。一年間本当にご苦労様でした。



公式行事の一つである「ファド（Fado）の夕べ」が開かれた闘牛場外観です。“END POLIO NOW”の看板が掲げられています。